

【ビジターセンター イベント案内】

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- 自然教室「相模の古代の宝石 セラドン石をさがしに行こう！」
- 【日時】11月13日(土) 9:45~15:30
- 【講師】門田 真人 先生 (県立生命の星・地球博物館 外来研究員)
- 【集合解散】宮ヶ瀬ビジターセンター
- 【内容】丹沢の成り立ちを物語る岩石をさがしに行こう！ その岩石でペンダント作りにも挑戦！
- 【対象】一般30名 (未就学児不可、小学生は保護者同伴) ※応募者多数の場合は抽選
- 【参加費】1人 2,000円 (材料費込)
- 【申込方法】往復はがき・FAX (返信用FAX番号明記) に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。詳細は締切後、返信にてご案内いたします。
- 【締切日】10月23日(土) 必着

県立丹沢湖ビジターセンター

- 自然教室「秋の西丹沢ネイチャーウォーク」
- 【日時】11月20日(土) 9:45~15:30 (予定)
- 【内容】のんびりペースで西丹沢の林道を歩きながら、深まりゆく秋の自然を観察します。(※場所についてはお問い合わせください。)
- 【対象】高校生以上20名 ※応募者多数の場合は抽選
- 【参加費】1人1,500円
- 【申込方法】往復はがき・FAX (返信用FAX番号明記) に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。詳細は締切後、返信にてご案内いたします。
- 【締切日】11月8日(月) 必着

県立秦野ビジターセンター

- 自然教室「10種の樹木を覚えよう！」
- 【日時】11月6日(土) 9:30~16:00
- 【集合解散】秦野ビジターセンター
- 【活動場所】三ノ塔尾根 (標高差約200m)
- 【内容】丹沢山麓の登山道をのんびり歩きながら、丹沢で見られる樹木を楽しく10種類覚えよう！
- 【対象】高校生以上 30名 ※応募者多数の場合は抽選
- 【参加費】1人 1,500円
- 【申込方法】往復はがき・FAX (返信用FAX番号明記) に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。詳細は締切後、返信にてご案内いたします。
- 【締切日】10月21日(木) 必着
- イベント変更のお知らせ
- 【登山道トーク】9月まで行っていたガイドウォークは、10月から『登山道トーク』に生まれ変わります！ 毎月第3土曜日の午前周辺登山道でミニトークを行います。見かけたらぜひ、足をとめてお楽しみください！
- 【スライドトーク】10月からは、毎週日曜日・祝日の13:30~14:00に変更となります。今後ともよろしく願っています。

環境省箱根ビジターセンター

- 「秋の箱根を歩く」
- 【日時】11月6日(土)
- 【締切日】10月29日(金)
- 【参加費】100円 (交通費実費)
- 「晩秋の箱根で落ち葉かき体験」
- 【日時】11月29日(月)
- 【締切日】11月8日(月)
- 【参加費】大人2,100円 子供1,100円(往復バス代、保険代)

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00~16:30 (通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧礼場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

自然公園へ出かけよう



2010

10月号
No.80

~自然公園から季節のたよりをお届けします~

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

秦野ビジターセンター

食欲の秋・実りの秋！

秋、丹沢の森にも様々な木の実が実ります。赤や紫色の目立つものから、葉の陰でそっと実をつけているものまで・・・。

そしてこの時期、山を歩いていると、木の種子がぎっしり詰まった動物たちの落とし物をみつけることがあります。アケビを食べたニホンザルの糞、サルナシを食べたツキノワグマの糞・・・。

食欲の秋。山の動物たちにとっては、食物の乏しくなる冬に向けて、食いだめをする大切な時期なのでしょう。

けれど、毎年同じようにどの木も実を豊富に実らせるわけではありません。木々によって、年によって豊作や凶作があり、その周期も異なります。動物たちは実り多い木を探して山を歩き回っていることでしょう。

今年丹沢では、ヤマグリの実が例年より多くなっているように思います。

「コナラのドングリが不作でも、かわりにヤマグリを食べよう・・・。」動物たちが畑の作物を荒らさずとも、いつの年も無事に冬を過ごせる豊かな丹沢の森であってほしいものです。(長縄)



ガマズミの実



サルナシの実



アケビの種子が入ったニホンザルの糞



サルナシの種子が入ったツキノワグマの糞

陣馬自然公園センター

陣馬山で見よう！タカの渡り

渡りをするタカとして、サシバやハチクマが有名です。これらの餌はカエルや昆虫など冬には姿を消してしまう種類です。そのため、餌が多くなる春に日本に渡ってきて、餌が少なくなる秋には東南アジア方面に戻っていきます。それら以外にもノスリ・オオタカ・ハイタカ・ハヤブサなども少数が渡りを行っています。

タカの渡りがよく見られる場所の一つには、上昇気流が生じやすい地形であることがあげられます。その場所で上昇気流に乗って、羽ばたかずに輪を描くように旋回しながら高度を上げていきます。そして、ある程度の高度に達すると、空を滑るように目的の方向に飛んでいきます。

陣馬山周辺でも、9月下旬から10月上旬の晴れた日には多くのタカが旋回しながら上昇していきます（主にサシバ）。飛んでいるタカを見分けることは難しいのですが、図鑑を片手にタカウォッチングにチャレンジしてはいかがでしょうか。 (青木)



旋回しながら高度を上げるサシバ



飛翔するサシバ



木に止まったサシバ

写真は陣馬山周辺で撮影したものではありません

丹沢湖ビジターセンター

台風9号のつめ跡

涼しい風が吹き、山の木々の葉が徐々に色づく時分です。暑い夏山を避けていた人には、過ごしやすい季節です。しかし、気をつけなければいけないことも!!

9月8日に通過した台風9号の影響が、まだ残っている箇所も多いからです。丹沢湖西南部にある不老山に通じる登山道は何箇所かで崩落があり、通行止めになっています。夕滝橋という昔ながらの吊り橋が目玉だった浅瀬から世附峠というコースも、吊り橋が流されたり、道路が寸断されたりして、通行することは出来ません。丹沢湖を周遊する道路でも、土砂が崩落し、通行止めになったままの箇所があります。

登山や紅葉狩りを計画されている方は、必ず事前の情報収集をしてください。楽しい時間を過ごすためにも、情報収集はかせませません! (長澤)



かつての夕滝橋
台風9号の濁流に飲み込まれ、今はもうない



林道世附線
大崩落が起き、道路には土砂がうず高く流れ込んでいる



世附地区
道路には流れ込んだ水とともに流木が押し寄せ、対岸の山は削り取られている

宮ヶ瀬ビジターセンター

秋の野山を彩る野菊たち

空澄み渡る10月の宮ヶ瀬では、野菊の仲間たちが見ごろを迎えます。

ノコンギク、シロヨメナ、アワコガネギク、タテヤマギク、リュウノウギクなど、林道や登山道で目にすることができます。白や紺、黄色の花びらに囲まれた可憐な花のひとつひとつは、よく見ると、もっと小さな花たちが沢山集まってできたものです。

そんな野菊たちですが、花の色や葉っぱの色・形、そして葉っぱのざらざらした触感など様々な個性があり、見分けるのも、またひと苦労です。

でも、一度覚えてしまうと、毎年この時期の野菊観察が楽しみになること、間違いなしです。

山々が赤や黄色に色づく前の宮ヶ瀬に、秋の野山を彩る野菊たちを見にいらっしやいませんか? (酒井)



キク独特の葉っぱです! リュウノウギク



花びらは、まばらにつきます! タテヤマギク



葉っぱはザラザラしています! ノコンギク



黄色い花を咲かせます! アワコガネギク

箱根ビジターセンター

こんにちは赤ちゃん

夏休みの終わり頃、箱根ビジターセンターにて一匹のちっちゃい恐竜(?)が孵化しました。ある日の昼下がりの午後、最近活発化してきた「イノシシの掘り返し」の補修作業中、掘られた穴の中から一個の小さな卵が出てきました。その卵を持ち帰り、何が出てくるのか観察を始めました。しかし、私の卵の取り扱いには非常に雑なもので・・・手のひらで転がしたり、地面に何度も落としたりと、中にいる者にとっては地獄であったらう。拾って来てから2週間が経過しましたが何の変化もなし。卵はもう死んでしまった・・・と諦めていました。しかし、そんな逆境をもとでもせず「カナヘビ」が元気に生まれてきました。奇跡を感じると同時に、生命の力強さを実感しました。今、カナヘビの「カナちゃん」は元気にすくすくとビジターセンターで成長を続けています。



カナヘビの赤ちゃん

動物達の秋

暑くて長い夏がようやく終わり、仙石原のススキ草原も、白い穂波が美しい季節になりました。それでも、動物達にホッと一息つく暇はありません。今年は、いつもより訪れが早そうな冬に備えて、準備に大忙しの様です。ビジターセンターの周辺でもイノシシの土耕跡が目立ち始め、アナグマやノウサギ、タヌキやイタチ等の姿を見かけるようになりました。芦ノ湖畔では、シカの足跡や糞を見つける事が出来ます。日暮れ近くになると、遠くの方から、どこか寂しげな、雄鹿のラブコールが聞こえてきます。動物達の動きが活発になると心配なのが交通事故です。動物の子供達が一人立ちする時期でもあります。いつもに増して安全運転に心がけて頂けたらと思います。(加藤・石原)



草地を疾走するノウサギ